

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R1自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	3	6	0	1	事業所理念はエレベーター前にあり。毎月全体会で唱和している。定期巡回独自の理念はないが事業計画にて重点項目を掲げている。	Q: 数字は人の数か？ →A: 自己評価したスタッフの数。定期巡回独自の理念がないため「全くできていない」につけている人がいるが、施設理念を再度説明するほうが良いのでは。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	4	6	0	0	4月事業説明会・随時で説明行っており、認識できている。	Q: 何回実施？ →A: 3回。
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	5	5	0	0	研修参加の機会は設けるようにしている。事業所内の勉強会も開催し、職員全員が参加、伝達講習できるようにしている。また、個人目標をあげ、研修参加を促している。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	7	3	0	0	経験等を配慮し、配置している。新人・指導が必要な職員に対しても随時指導・助言を行っている。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	2	8	0	0	訪問看護事業所とは担当者会議や来所時に申し送り・共有ノートで連携を図り、できる限り情報共有を行っている。	情報共有は書類確認になるから弱いのか？顔を見合わせての情報共有が難しいように捉えられる。

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R1自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	4	6	0	0	受診等で変更が必要になった場合、中止はせず、シフトを変更し配置を工夫しており、件数によっても配置を変更し、対応している。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	3	7	0	0	会議を開催し、助言も活かすよう努力している。スタッフ会議で職員に報告している。	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	5	5	0	0	状況に応じ、連携が取れる体勢を整えている。関係機関にも随時連絡を行い、情報共有を行っている。	
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	7	0	0	緊急時対応訓練の実施、夜間の施錠等対策はできているが、夜間訪問実績なく、防犯対策まではできていない。	Q:夜間訪問実績がないということは外部に出ていないということか？ →A:今年度は実績がない。外部に出るようになれば考えていく必要がある。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	4	5	1	0	個人情報勉強会を実施、職員間の周知は図られているが、工夫は講じられているとはいえず課題がある。	

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R1自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
Ⅱ 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	5	4	1	0	個人のニーズに合せ、朝夕の更衣や、口腔ケア等の訪問を実施している。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	3	5	2	0	適宜、情報共有を行い、生活リズムの見直しを図っている。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	4	5	1	0	ケアマネと情報共有し、維持回復できるようプランに反映している。	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	2	6	2	0	日頃より状態観察に努め、家族の意向を確認し、計画作成。訪問看護、訪問リハビリとの情報共有も行き連携を取っている。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	6	4	0	0	必要に応じ、状況に応じた柔軟な対応ができている。また、必要であれば、時間変更・プラン追加等をケアマネに提案している。	
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	7	3	0	0	モニタリングを毎月行い、状況変化があれば、ケアマネと情報共有し、プランにも反映している。	

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R1自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	5	4	1	0	役割分担のガイドラインはないが、情報共有を行い、都度相談しながら協力して対応している。	「できていないことが多い」に1名つけている。役割分担という意味の理解不足かもしれない。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	5	5	0	0	情報共有を図り、必要に応じ、指導や助言を受けている。	
(4)利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	5	5	0	0	サービス開始前にアセスメントを行い、必要なサービスの説明・情報提供を行っている。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	5	5	0	0	計画を説明し、本人・家族と共通認識できるよう努めている。	プランに載せることができない部分もあると思うが、独自のコメントとして載せればよいのでは。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	5	5	0	0	状況変化等、こまめに家族に報告し、迅速な対応に努めている。	

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R1自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	4	5	1	0	モニタリング提出、居宅訪問時に状況報告を行い、サービス提供の変更も相談して決めている。知人や会の外出支援、理美容、移動パン等インフォーマルサービスを利用されている。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	4	6	0	0		
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	3	7	0	0	担当者会議には必ず参加し、積極的な情報提供を行い、他職種とも連携が図れている。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	5	5	0	0	サービス開始前に情報共有し、保険外サービス等の提案を行ったり、必要な支援を誰が行うかを家族を交えて相談したりしている。病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	4	6	0	0		
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	4	6	0	0	サービス開始前に情報共有し、退院前カンファレンスや事前調査も積極的に行っている。	

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R1自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	4	1	0	職員はパソコン等で確認でき、インターネットでの公開もされている。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	3	5	2	0	居宅には広報活動行っているが、外部受け入れ準備ができず、医療系施設等には積極的な周知活動が行えていない。	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	3	6	1	0	毎年の集団指導へ参加、昨年は実地指導を受けている。職員への勉強会も実施。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	1	6	2	1	外部利用までには至っておらず、特に夜間対応が職員配置困難な状況。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）	1	6	2	1	外部利用までには至っておらず、特に夜間対応が職員配置困難な状況。今後の課題。	

ガーデンハウスはまむら<定期巡回> R1自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	5	5	0	0	毎月のモニタリング、3カ月毎の評価で達成度を評価。年2回満足度調査実施し、改善につなげている。ご家族から、安心の声も聞かれる。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	4	6	0	0		

<その他のご意見>

Q:いつ頃自己評価をしたか→A:5月ごろに実施。

定期巡回が発信元になってもよい。ケアマネに発信していけるとなおい。